

あ、海に落としてしも一た。

遺跡から縄文時代には、喜界島に人がいたことがわかっています。

喜界島で見つかる石器の石材は、すべて奄美大島や徳之島をはじめとする様々な場所から持ち込まれたようです。

普通は遺跡で見つかるはずの石器ですが、ときどき思わぬところから見つかることもあります。



写真中央にあるだ円形の石

荒木の海岸のサンゴの石灰岩（4,000 年前）の中に、だ円形の石がありました。この石は、喜界島ではとれない石材です。石器として喜界島に持ち込まれた石が何らかの理由で埋まってしまったようです。

4,000 年前、この場所は、サンゴ礁の海でした。もしかしたら、縄文の人が舟に乗っているときに、まちがって海に石器を落としてしまったのかもしれない。